

平成 22 年度ダイオキシン類環境モニタリング調査結果について

1 調査結果の概要

県では、毎年、ダイオキシン類対策特別措置法（以下「法」という）第 27 条第 1 項に基づき、県内の大気、公共用水域、地下水及び土壌について、ダイオキシン類による汚染の状況を調査しています。

平成 22 年度の調査結果は次の表のとおり、環境基準を超過した地点はありませんでした。

調査対象		調査 地点数	調査回 数	調査結果 (濃度分布)	環境基準値	単位 (注)
大気環境	一般環境	4 地点	年 4 回	0.0065～0.034	0.6	pg-TEQ/m ³
	沿道	2 地点	年 4 回	0.0052～0.038		
	発生源周辺	4 地点	年 4 回	0.0037～0.027		
公共用水域	水質	34 地点	年 1 回	0.027～0.68	1.0	pg-TEQ/L
	底質	34 地点	年 1 回	0.054～2.8	150	pg-TEQ/g
地下水		6 地点	年 1 回	0.035～0.096	1.0	pg-TEQ/L
土壌	一般環境	9 地点	年 1 回	0.0068～23	1,000	pg-TEQ/g
	発生源周辺	45 地点	年 1 回	0.31～35		

(注) 単位の「pg(ピコグラム)」は 1 兆分の 1 グラムを意味し、「TEQ」は測定されたダイオキシン類の量を、ダイオキシン類の中で最も毒性が強いとされる 2,3,7,8- 四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した量（「毒性等量」という。）を表す。

2 今後の対応

平成 23 年度以降についても、引き続き、県内における大気環境、公共用水域、地下水及び土壌のダイオキシン類による汚染の状況を把握します。

図1 平成22年度ダイオキシン類（環境大気）モニタリング調査地点

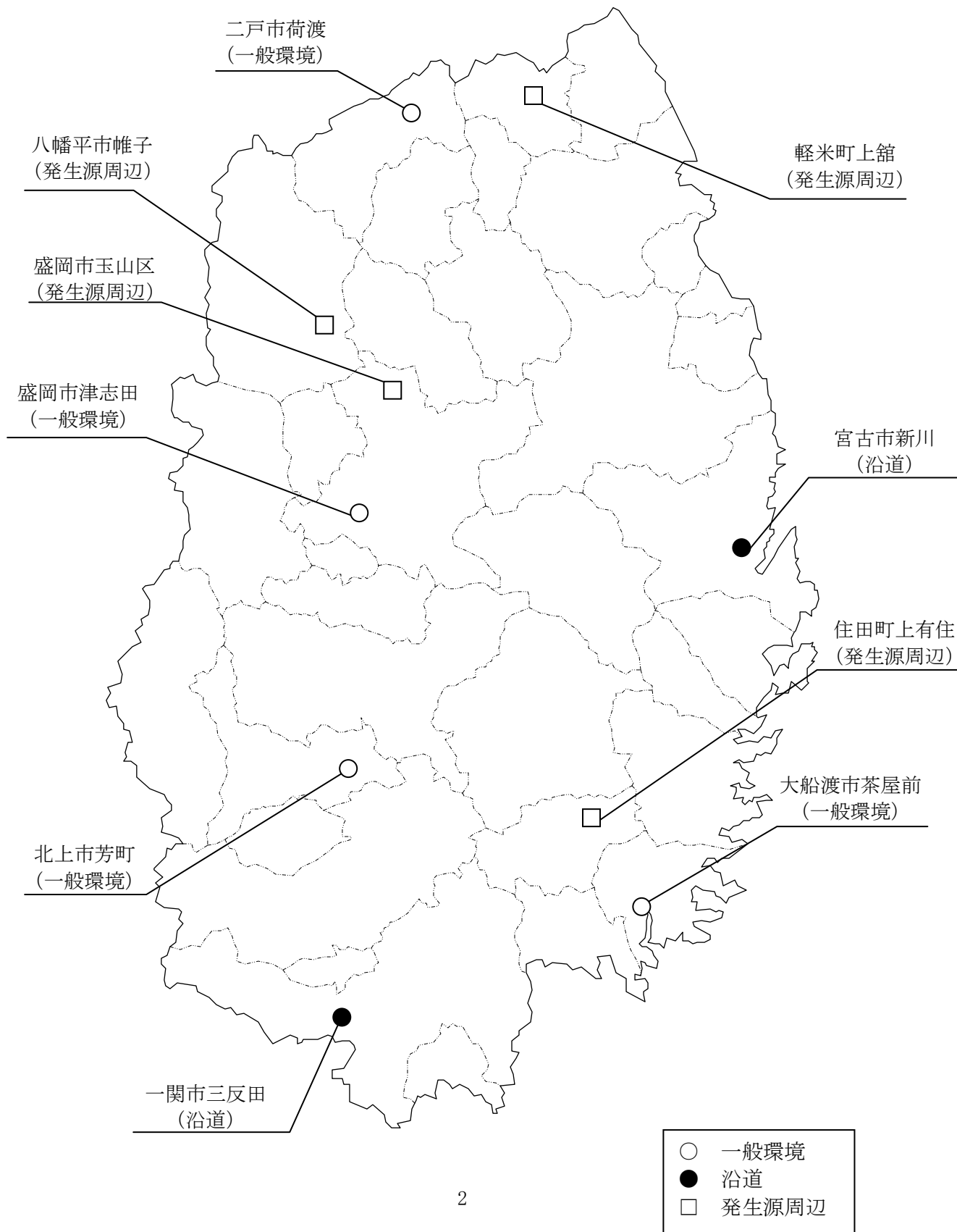


表1 環境大気中のダイオキシン類の調査結果

(大気環境基準値：0.6pg-TEQ/m³)

区 分	調査地点	ダイオキシン類毒性等量濃度 (pg-TEQ/m ³)				
		平均値	春季	夏季	秋季	冬季
一般環境 (一般的住居地域)	盛岡市津志田※1	0.019	0.013	0.015	0.019	0.029
	北上市芳町	0.0093	0.0065	0.010	0.013	0.0078
	大船渡市茶屋前	0.013	0.019	0.015	0.0079	0.010
	二戸市荷渡	0.019	0.016	0.034	0.017	0.0098
沿 道	宮古市新川	0.010	0.0052	0.014	0.0077	0.014
	一関市三反田	0.015	0.0052	0.0069	0.038	0.0090
発生源周辺 (廃棄物焼却炉 の周辺地域)	盛岡市玉山区※1	0.0085	0.0082	0.0084	0.0072	0.010
	八幡平市帷子	0.016	0.027	0.0080	0.017	0.012
	住田町上有住	0.0054	0.0049	0.0037	0.0046	0.0084
	軽米町上舘※2	0.0095	—	—	0.0099	0.0091

※1 盛岡市測定地点

※2 廃棄物焼却炉の稼働状況により、春季、夏季は測定できず

表2 公共用水域のダイオキシン類の調査結果

(環境基準値：水質 1 pg-TEQ/L、底質 150pg-TEQ/g)

区分	調査地点 (水域名 地点名)	毒性等量濃度		調査地点 (水域名 地点名)	毒性等量濃度	
		水質	底質		水質	底質
河川	北上川(1) 岩崎橋	0.14	0.073	久保川 赤子橋	0.13	0.51
	中津川中流 水道橋 ※1	0.047	0.30	砂鉄川 生出橋	0.26	0.072
	取染川 赤湊付近	0.083	0.11	千厩川上流 久伝橋	0.061	0.083
	上野沢 全農排水口上流	0.027	0.17	千厩川下流 水門	0.17	0.082
	雫石川上流 葛根田橋	0.043	0.24	大川 宮城県境	0.10	0.059
	雫石川下流 諸葛橋 ※1	0.046	1.3	盛川下流 佐野橋	0.13	0.34
	中津川中流 落合橋 ※1	0.044	1.3	気仙川 姉齒橋	0.051	0.71
	乙部川 乙部橋 ※1	0.059	0.45	甲子川 矢の浦橋	0.058	2.8
	滝名川 滝名川橋	0.055	0.064	甲子川 大渡橋	0.048	0.098
	稗貫川 稗貫川橋	0.058	0.080	高松沢 薬師川合流直前	0.028	0.054
	猿ヶ石川 安野橋	0.080	0.89	閉伊川下流 宮古橋	0.081	1.7
	豊沢川中流 新淵橋	0.060	0.15	小本川 惣畑橋	0.10	0.054
	和賀川中流 広表橋	0.074	0.12	玉川 もぐり橋	0.11	0.054
	宿内川 宿内橋	0.68	0.76	夏井川 旧夏井橋	0.069	0.089
	胆沢川下流 再巡橋	0.14	0.10	安比川 逢川橋	0.056	0.65
人首川 江雲橋	0.13	0.17	馬淵川上流 府金橋	0.047	0.38	
湖沼	湯田ダム貯水池 ※2	0.068	2.2			
海域	久慈湾 S-1	0.063	0.089			

注) 水質に係る濃度の単位は pg-TEQ/L、底質に係る濃度は pg-TEQ/g

※1 盛岡市測定地点

※2 国土交通省北上川ダム統合管理事務所測定地点

図3 平成22年度ダイオキシン類（地下水）モニタリング調査地点

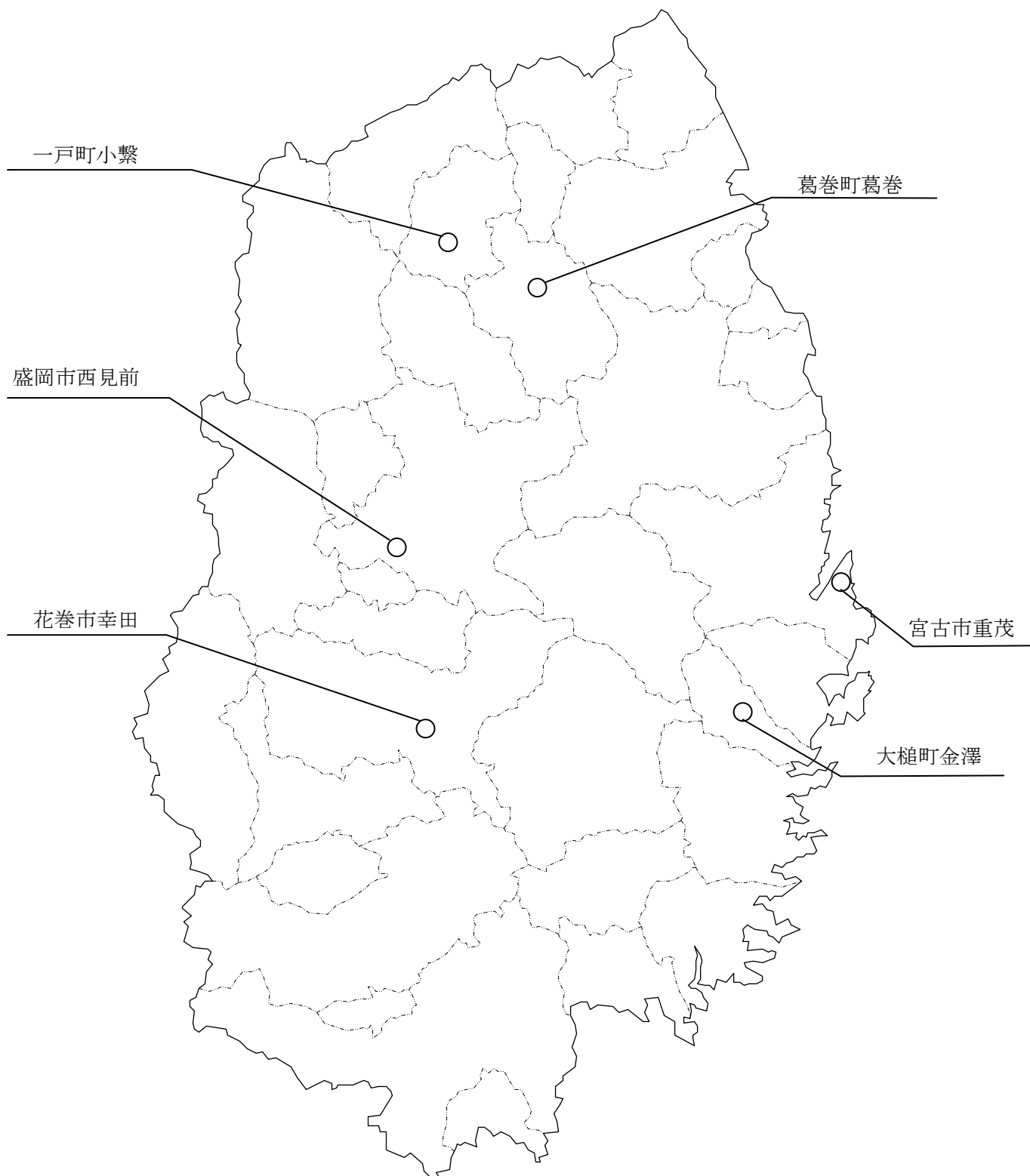


表3 地下水のダイオキシン類の調査結果

(水質環境基準値：1 pg-TEQ/L)

調査地点	毒性等量濃度
宮古市重茂	0.045
花巻市幸田	0.037
葛巻町葛巻	0.085
大槌町金澤	0.096
一戸町小繫	0.035
盛岡市西見前※	0.042

備考) 濃度の単位は pg-TEQ/L

※ 盛岡市測定地点

図4 平成22年度ダイオキシン類（土壌）モニタリング調査地点

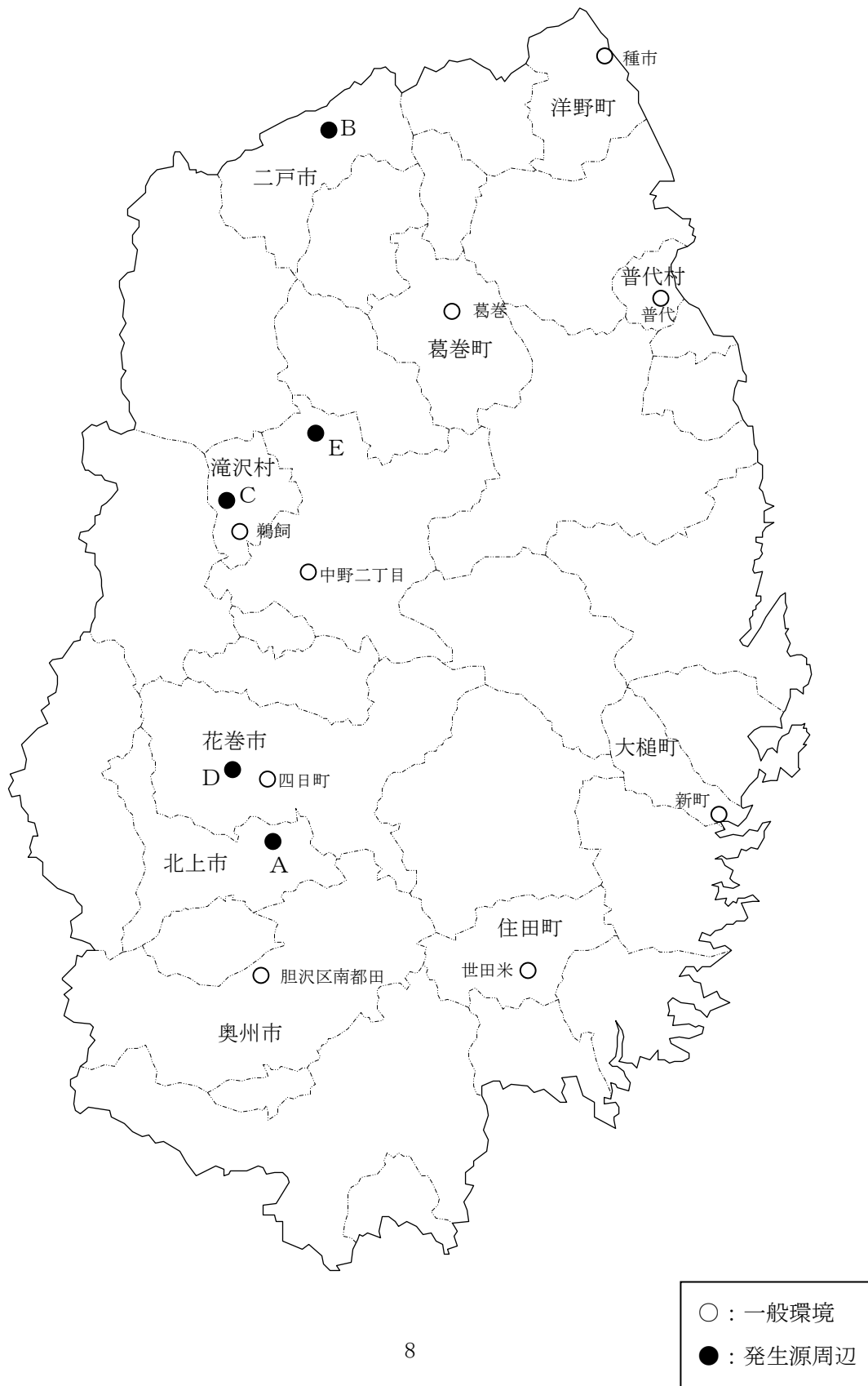


表4 土壌のダイオキシン類の調査結果

(土壌環境基準値：1,000pg-TEQ/g)

区 分	調 査 地 点	毒性等量 濃度	調 査 地 点	毒性等量 濃度
一般環境	花巻市四日町一丁目	0.55	住田町世田米字川向	19
	奥州市胆沢区南都田字加賀谷	21	大槌町新町	0.33
	葛巻町葛巻	0.045	普代村第13地割字普代	0.0068
	滝沢村鶴飼字御庭田	23	洋野町種市	0.074
	盛岡市中野二丁目 ※	11		

備考) 濃度の単位は pg-TEQ/g

※ 盛岡市測定地点

区 分	調 査 地 点	毒 性 等 量 濃 度	調 査 地 点	毒 性 等 量 濃 度
発生源周辺	A-1 北上市成田	20	A-6 北上市成田	12
	A-2 北上市成田	2.0	A-7 北上市成田	5.5
	A-3 北上市成田	7.8	A-8 北上市成田	4.9
	A-4 北上市成田	12	A-9 北上市成田	5.4
	A-5 北上市成田	35		
	B-1 二戸市下斗米	1.1	B-6 二戸市下斗米	1.2
	B-2 二戸市下斗米	0.58	B-7 二戸市下斗米	1.4
	B-3 二戸市石切所	1.9	B-8 二戸市下斗米	1.5
	B-4 二戸市上斗米	2.2	B-9 二戸市下斗米	7.3
	B-5 二戸市下斗米	1.2		
	C-1 滝沢村鶉飼	6.1	C-6 滝沢村鶉飼	8.5
	C-2 滝沢村鶉飼	9.8	C-7 滝沢村鶉飼	21
	C-3 滝沢村鶉飼	5.1	C-8 滝沢村鶉飼	2.3
	C-4 滝沢村鶉飼	2.5	C-9 滝沢村鶉飼	5.3
	C-5 滝沢村鶉飼	9.4		
	D-1 花巻市金矢	12	D-6 花巻市金矢	5.4
	D-2 花巻市金矢	0.31	D-7 花巻市金矢	1.9
	D-3 花巻市金矢	0.39	D-8 花巻市金矢	8.8
	D-4 花巻市金矢	4.1	D-9 花巻市金矢	3.5
	D-5 花巻市金矢	4.0		
	E-1 盛岡市玉山区寺林※	3.5	E-6 盛岡市玉山区巻堀※	4.0
	E-2 盛岡市玉山区寺林※	11	E-7 盛岡市玉山区寺林※	17
	E-3 盛岡市玉山区寺林※	8.4	E-8 盛岡市玉山区巻堀※	15
	E-4 盛岡市玉山区寺林※	10	E-9 盛岡市玉山区寺林※	15
	F-5 盛岡市玉山区寺林※	4.3		

備考) 濃度の単位は pg-TEQ/L

※ 盛岡市測定地点